

No.	改革項目名	なにを【現状・課題】	なんのために【改革効果】	どうするか【取組内容】	審議結果(方向性)
1	市の遊休資産の活用	メガソーラや燃料電池発電所による恒久財源確保。 袖ヶ浦市によるEPCと運営、基本技術の内製化。	安定的財源の確保(20年間)	メガソーラや蓄電設備、燃料電池設備の建設。 備考:福島県などで例があり。	採択(他の項目と統合)
2	窓口業務のマルチスキル化	窓口業務のローテーションはされているが、個人の属人化したものになっている。たとえば秘書課は窓口業務可能か? だれがどのスキルをもっているのか数値化。	市民の安定したサービスを受けられるように(タイミングや、対応による心象)	人事考課の見直しと、違いを定量化する技術の確立。窓口時間の見直しと窓口業務の国政対応についての効率化上申。 備考:さいたま県庁などでコンサル導入の例があり。	不採択 (戸籍等諸届けのほか、行政センターでは税、国保等の限定された中でのマルチスキル化は図られている。)
3	問題とは進捗管理から発生し理想とのギャップである	改革の進捗について	市民への理解と、問題の解決度合いをはかるために	行政改革の進捗・達成度の2点を見えるようにする。 ガントチャートとネットワーク図をHPで週1回公開。	不採択 (ホームページでの公開は年1回であるが、実施済みのため。)
4	取引関係の見直し(小中高一貫したビジネスサポート(経営コンサルティング))	袖ヶ浦駅の商店で独占販売しているが、客商売ではない。	市民の満足のために	お店の経営をサポートしてやる気が無いなら別の道を示す。最終的に指定基準の見直しとその役割・責任・権限プロセスの明確化。 備考:地方銀行との連携が望ましい。地元で愛される店作り。	不採択 (行政改革の趣旨と異なるため。)
5	ごみと水道料金の見える化	市原市、木更津とくらべると、一人当たりのごみの量が格段に多い。また、水道料金もたかい。 なぜそうなっているのか	市民の納得を得るためにサポート	情報の整理方法や公開方法を議論していく。 備考:シミュレーションなどビッグデータ解析技術をプロポーサル	不採択 (ホームページなどで情報提供は行っているため。)
6	交通量調査とビッグデータによる解析	連れ去り未遂事件などの解決にGISなどの技術投入、犯罪率、交通安全全国ナンバー1、災害ゼロを目指す。 インタラクティブな情報公開と情報利用。	市民の安全をまもるために。	総務省などのモデル事業をはじめ。袖ヶ浦高校のICT活用等。地域交流。(社会問題解決ソリューションを任す) 備考:個人情報保護におけるリスク管理。	不採択 (国レベルでの調査・研究の段階であり、現時点で、本市で取り組める内容はないため。)
7	ガウランドの市民負担率と機能的な目的達成	30台のはたらきざかりの体力数値が思わしくない。 ガウランドの目的をはっきりさせ	それに特化する。	グラフの見えるか、パーベキューなど目的の整合。 備考:マーケティング技術の確立。プロポーサルによるPFI	不採択 (使用料改正により、受益者負担の適正化は図られている。市民の健康増進も、各種の検診・教室により、取組みは行われている。)